

令和7年度第3回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和7年10月28日（火）14:15～
- 広島港湾振興事務所大会議室（広島市南区出島二丁目34-7）

2 出席者

- 14名出席（3名欠席）

3 議事要旨

（1）議事

- 前回協議会の概要について
- モニター監視について
- 廃棄物の受入実績等について
- 埋立計画に係る進捗状況について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策の状況について

（2）回答要旨

【前回協議会の概要について】

- ・ 皆様の御協力により、盛大に盆踊り大会を開催することができました。他の地区へ十分な周知ができなかったことから、来年度は、周知のことも考慮して運営したいと思います。
→ 県として初めての事業であり、周知への配慮が十分でなかったと考えています。周知の在り方については、皆様と検討させていただけたらと思います。

【モニター監視について】

（意見なし）

【廃棄物の受入実績等について】

【埋立計画に係る進捗状況について】

- ・ 目標はどのように設定しているのでしょうか。一定の期待値を含めたものでしょうか。
→ 大口事業者の意向等から今年度の搬入量を予測し、この予測値を目標としています。
- ・ 上半期は目標どおりの進捗であるが、多少遅れ気味であるとの認識でよいでしょうか。
→ 大口事業者のリサイクルに向けた対応が進む一方で、想定よりも燃え殻やばいじんを多く搬入いただいたことから、おおむね想定どおりの進捗ですが、上半期の進捗率が50%に至っていないため、多少遅れ気味であるとの認識です。

- 埋立が完了するまでに18年かかるということですが、地元との協定期間は10年として対応いただいています。しかし、リサイクルが大きく進展しており、18年で埋め立て完了することも難しい状況です。
協定を結んだ10年の期間について、すでに2年ほど経過しており、今後長期の搬入契約とすることができないことから、新たな搬入業者を確保しづらくなっています。18年や20年といった長期の契約を可能とすれば、搬入業者を確保をしやすくなるのではないかと思います。
また、単に埋立期間を延長するのではなく、廃棄物での埋立が完了しない場合も計画的に事業を終了させることも考えるべきであり、そのためには、次期処分場の検討も進める必要があるのではないのでしょうか。
→ 事業者からは、搬入できる期間が長い方が廃棄物の搬出先として選定しやすいとの御意見をいただいています。地元の方々と合意した10年を前提に交渉やヒアリングを進めています。御意見を参考にしながら、引き続き、搬入事業者の確保に努めます。

【処分場の維持管理状況等について】

(意見なし)

【周辺環境の調査結果について】

(意見なし)

【地域振興策の状況について】

(意見なし)

【その他】

- 今後、各地区への事前説明の際に意見があれば、協議会の際に事務局から紹介してもらえないでしょうか。
→ 事前に御意見をいただいたもののうち、承諾を得られたものについて紹介します。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課

TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)